福岡･担･担支発 No.0022-003
平成３０年５月１７日

Ｊ Ａ　　御中
（営農担当部署）

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会
（事務局：ＪＡ全農ふくれん 担い手支援課）
（公 印 省 略）

営農情報３

麦の収穫に向けた今後の管理について

１１月下旬播種の麦の出穂期は平年より１～３日遅く、その後の高温の影響で熟期は早まり、成熟期は平年並み～１日早い、５月１８日～３１日頃になると予想されます。
高品質麦の生産に向けて、収穫前の排水対策、雑草対策を行うとともに、適期収穫をお願いします。

１　麦種別の予想収穫期

大　麦・はだか麦　　：５月２０日頃～
小麦（シロガネコムギ）：５月２８日頃～

※収穫期は平年並み～１日早い、前年より１～３日程度遅いと予想されます。
しかし、品種や播種期、地域による差が大きいため、必ずほ場調査を行って各地域における収穫適期を判断してください。

２　排水対策

ほ場の排水溝を整備しましょう。特に、枕地の溝は排水口と繋がるように溝さらえを行い､降雨があった際でもほ場内の停滞水が速やかにほ場外に流出するようにしておきましょう。

３　雑草対策

収穫までに、カラスノエンドウなどの問題となる雑草を除去してください。

４　適期収穫

ほ場調査を十分に行い、倒伏程度の大きいほ場や、成熟が著しく遅れているほ場は、別集荷などの対策を実施してください。

５　その他

５月下旬以降は低気圧や前線の影響を受けやすく､平年に比べ晴れの日が少ないと予想されていますので、周到な収穫準備と荷受け計画をお願いします。

以上